事例No.	2835
公表年度	R5
団体の属性	複数団体
団体名	山形県川西町、新潟県上越市、三重県名張市、島根県雲南市

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・公共施設活用 ・福祉・介護

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の取組事例

出典

地域力創造推進に関する研究会（第5回）

地域運営組織の取組事例

参考

特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク（山形県川西町）

- 高齢者のふれあいサロンや児童クラブ事業など住民の生活支援活動を実施している。
- コンビニの休憩スペースを利用した産直朝市を実施し、地元農産物の販売を積極的に行っている。
- 住民ワークショップを実施し、女性や若者を含む地域の様々な意見を集約し、事業計画の企画立案に役立てている。



きらり産直市場



特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部（新潟県上越市）

- 体験型学習施設である「地球環境学校」など指定管理業務を受託している。
- 地域づくり活動を志す若者に向けて農作業などの学びの場を提供することを目的に、若者育成のための「里創義塾（りそうぎじゅく）」を開講している。
- 再生古民家カフェの「平左衛門（へいざえもん）」、宿泊施設の「霧山荘」を運営している。



地球環境学校のアクティビティ



再生古民家「平左衛門」

地縁法人錦生（にしきお）自治協議会（三重県名張市）

- 平成24年には、法律上の責任の所在を明確化し、継続した活動基盤の確立を図るため、地縁法人（認可地縁団体）としての認可を受けた。
- 高齢者のサロン事業や、不採算路線のため廃止が発表されたバス路線の運行委託、小学校跡地を利用したキノコ生産・販売の実施、放課後子ども教室など、様々な事業に取り組んでいる。



生産されるキノコ「にしきおっ子」

波多（はた）コミュニティ協議会（島根県雲南市）

- 小学校区域を単位とした「地域自主組織」が各地で立ち上げられ、行政と市民とが一体となった協働のまちづくりを推進。
- 交流センターの一画に、ミニスーパーを開設し運営。生鮮食料品から日用品まで幅広く商品を販売している。
- 交通手段を持たない住民向けの送迎サービスなどの様々な活動を展開している。



「波多マーケット」店内の様子



送迎・外出支援（有償輸送）